



「女性がいてくれてよかった」という言葉を
いただいたときが、消防士になって
よかったと思える瞬間です。

消防職 令和 3年度～ 玉島消防署
令和 6年度～ 水島消防署

小谷 悠華 (こたに ゆか)

倉敷市役所に入庁した理由を教えてください。

兄が消防士になり、そこで女性消防士が働いていることを知り、消防という職に興味を持つようになりました。倉敷市は私の地元でもあり、今までお世話になった方々の助けになりたい、生まれ育った倉敷のまちを守りたいと思い、倉敷市消防局に入局しました。

現在の所属の業務内容と担当業務について教えてください。

火災、救急、救助といった現場活動を行っています。大型運転免許を取得し、緊急自動車を運転することもあります。現場活動以外の業務は救急担当で、救急報告書の作成、救急の資器材管理、救命講習や救急法での指導など、救急に関すること全般を行っています。出勤がない時間は、主に資器材や車両の操作訓練を行っています。



倉敷市職員としてのやりがいを教えてください。

倉敷市が地元でもあるため、現場で今までお世話になった方の対応をすることがあります。そのような方の力になれたときは、恩返しできていることを実感することができ、やりがいを感じます。また、救急現場で傷病者の方から「女性がいてくれてよかった」という言葉をいただいたときが、消防士になってよかったと思える瞬間です。

人事異動を経験してみてどう感じましたか？

4年目の今年、玉島消防署から水島消防署に異動となりました。水島消防署には、コンビナート災害に対する特殊な車両もあり、前署では得られなかった経験など、自身のスキルアップにつながっています。



前所属の担当業務について教えてください。

玉島消防署に所属していましたが、現所属同様、火災、救急、救助といった現場活動を行っていました。現場活動以外の業務は、今年度と同じ救急担当でした。

📩 就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします。

現在では女性消防士も増え、多くの女性職員が活躍しています。体力面で不安なこともありますが、先輩方や後輩の助力もあり、一人ではできないことも乗り越えることができます。消防という仕事は、大変ではありますが、市民に直接寄り添い、助けることができるやりがいのある仕事です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。